

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	スポーツ振興課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市立川副運動広場・佐賀市立スポーツパーク川副
所在地	佐賀市川副町大字鹿江700番地 他
施設概要	<p>○川副運動広場 32,972㎡ 野球1面、ソフトボール1面、ゲートボール4面</p> <p>○スポーツパーク川副 ※多目的広場・・・24,700㎡ 野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面、夜間照明 ※体育センター・・・ 1,548㎡ バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン6面 ※武道場・・・・・・・ 1,045㎡ 剣道場、柔道場、弓道場(近的3人立) ※トレーニングハウス・・・854㎡ パラエティールーム、ミーティングルーム、 トレーニングルーム(ランニングマシン3台、エアロバイク3台他) ※市民プール・・・・ 2,800㎡ 50m×8コース</p>

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人かわそえスポーツクラブ	指定期間	開始日	平成27年4月1日
	所在地	佐賀市川副町大字鹿江700番地		終了日	平成32年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用の許可、使用の制限、使用許可の取消し等施設使用における申し込みや予約を窓口、インターネット、電話により受付を行い、併せて使用料金の徴収を行った。 ・川副運動広場については、施設周辺のごみ拾い、トイレ清掃等を利用者の協力を得て、計画的に行った。 ・総利用者数は112,848名となった。 ・地域住民のスポーツ振興を図るため、利用者の視点にたったサービスと利便性の向上に努めた。 ・利用者の事故防止、防災対策に努め、常に利用者が安全に利用できる環境を整備した。 ・顧客情報、機械設備の管理情報等については、適切な管理に努めた。 ・管理職員等に対し、資質向上、知識向上等の育成を図った。 ・各年度ごとの事業計画、事業報告書等や月例の利用状況、利用料金の状況を作成し、佐賀市へ提出した。 ・各種スポーツ教室・イベント等の自主事業を企画・実施し、施設利用者の拡大を図り、また、利用者とのコミュニケーションにより利用者のニーズ等の把握を行い、業務改善に取り組む。
②施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者の快適な活動環境を確保するため、日々施設内外の巡回点検を行った。 ・電気設備、保安業務、警備、消防設備、空調、防水槽、清掃、除草、樹木剪定、消毒、プールの水質検査、トレーニング機器の保守、遊具の保守については専門業者に依頼し、設備の安全確保を行った。 ・社員一同で老朽化した施設の補修整備に努めるとともにグラウンド内外の排水確保や整地、除草等を行った。
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツデーの開催(10月8日 少年スポーツクラブ交流会同時開催) 市民のスポーツによる健康づくり、仲間づくりを目的として開催し、施設利用の促進を図った。 開催種目 27種目 参加者数 605名 ・施設利用拡大への取り組み イベント・大会等の開催、誘致を積極的に行い、日常の練習による施設利用者の活動育成を図った。 ・施設管理者定例会議 施設管理の情報共有化を図るため、週1回昼間勤務者全員による会議を開催した。

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 多目的広場	人	36,398	38,222			
② 体育センター	人	14,504	26,206			
③ 武道館、トレーニングハウス	人	30,328	23,470			
④ プール	人	2,827	2,313			
⑤ 川副運動広場	人	25,626	22,637			
合 計		109,683	112,848			

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
<ul style="list-style-type: none"> 施設利用について、利用者及び指導者・代表者とのコミュニケーションにより利用者のニーズ等の把握を行った。 利用者からの随時の要望等に対し、早急の対処とともに記録を残した。 事務所前にアンケート用紙を設置し、ご意見箱に投入してもらうようにしている。 	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
・プレスベンチのカバーが破れているため補修	・カバーの張替えを行った。
・バーベルプレートの20kg、10kgを増やしてほしい	・利用者の利用状況等を調査したが重複した利用は少なかつたため、今後の利用状況を見ながら検討する。
・体育センター(ロビー)の網戸が設置されていない	・網戸の取り付けを行う。
・体育センターのトイレドアクローザーの修理要望	・ドアクローザーの交換を行った。
・川副運動広場のトイレ配管漏水修理要望	・トイレ配管漏水修理を行った。
・プール下倉庫(4番)ドアノブの修理要望	・ドアノブの交換を行った。
・武道館事務室のドアクローザーの修理要望	・ドアクローザーの交換を行った。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度決算
指定管理料	29,842	29,842			
うち修繕費	1,267	1,084			
うち備品費	0				
うち光熱水費	9,161	8,540			
摘要(補足説明等)	・高熱水費の減額は4月より九州電力から民間会社(イーレックス)へ変更し減額となった。				

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度決算
使用料					
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	0	0			
摘要(補足説明等)					

7 指定管理者の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> 施設については、老朽化により修繕箇所が増加する傾向が見られるため、施設の点検や見回り等により危険箇所の早期発見に努め、軽微なものについては、出来る限り社員で修理するようにしている。社員で対応できない場合は、利用者の立ち入りを禁止するなど安全面に配慮した上で、早急に業者へ委託し修繕を行うなど利用者に安心して利用していただけるよう努めている。 利用者とのコミュニケーションにより要望や意見等を聞きやすい雰囲気づくりに努めている。 備品や貸出用具等も老朽化してきているため計画をたてて交換していくよう検討している。 施設内清掃は、利用者に気持ち良く利用してもらえるよう、植栽の剪定や除草作業等を定期的に行い、ゴミ拾いやトイレ清掃、窓の開放等を毎日実施するよう努めている。 体育センター耐震・改修工事工事が完了し、フットサルが利用可能となったため、利用時にはネット張りや重り設置の準備やフットサル靴の着用をお願いした。できていないときは再度お願いし、利用方法の順守を守ってもらうように努めた。

8 市による指定管理者の評価

<p>グラウンド、体育センター(体育館)、武道館、トレーニングルーム、市民プールなど多くの施設を有する施設であり、老朽化による修繕箇所があるものの、日常的な点検、随時の補修対応により、利用者の利便性及び安全性を確保しながら適切に運営されている。</p> <p>平成27年度に体育センターの耐震工事を実施し、一時、利用者数が減少したものの、平成28年度については、リニューアルオープン直後ということもあり、利用者数も順調に伸びている。</p> <p>総合型スポーツクラブによる指定管理という特性を活かし、会員だけでなく、地域全体を巻き込んで自主事業を実施することで、今後も継続して利用者の拡大、スポーツ推進の取り組みを行っていただきたい。</p>
--